

議員提出議案第 6 号

夢洲 IR 区域整備計画の賛否を問う住民投票の実施を求める決議

みだしの件について、議会会議規則第 13 条の規定により提出する。

令和 4 年 6 月 21 日 提出

提出者 熊取町議会議員 文野 慎治  
賛成者 熊取町議会議員 矢野 正憲  
賛成者 熊取町議会議員 浦川 佳浩  
賛成者 熊取町議会議員 坂上 巳生男

提案理由

6 月 6 日に整備計画の賛否を問う住民投票を求める直接請求署名が、大阪府内 72 市区町村選挙管理委員会に提出されました。提出された総署名概数は 208,947 筆に達しました。(法定数 146,472 人) 法定数を越えた市区町村は 54/72、75% を超えました。

よって熊取町議会は、IR 区域整備計画についての大阪府民の賛否を問う住民投票の実施を強く求めるため、本決議案を提出するものであります。

## 夢洲 IR 区域整備計画の賛否を問う住民投票の実施を求める決議

大阪府議会、大阪市議会において I R 整備計画が既に可決されているが、6月6日に整備計画の賛否を問う住民投票を求める直接請求署名が大阪府内72市区町村に提出された。大阪府はこれを重く受け止めるべきである。

大阪 IR 株式会社 (MGM リゾーツとオリックスなど) との協定書により、当初の IR 基本構想は大きく変更され、2019年に作成された基本構想では、IR 全体の年間延べ利用者数2480万人のうち、カジノ施設の利用者は590万人と見込んでいた。それが2021年12月に公表された大阪・夢洲 IR 区域整備計画 (案) では、IR 全体の利用者数1987万人のうちカジノ利用者1610万人と基本構想の3倍近くまで引き上げられている。

さらに、基本構想では、カジノ想定売り上げは3800億円 (外国人2200億円、日本人1600億円) であったのが、整備計画ではカジノ想定売り上げ4200億円 (IR 入場者のうち日本人客7割) と日本人に重点を置いた計画に変更されている。

I R 整備法は自治体に対し、整備計画を作る上で「住民の意見を反映させるために必要な措置」として、地元議会の承認とは別に公聴会などの実施を義務づけ、審査においても「地域における十分な合意形成」を評価基準の一つとしている

よって熊取町議会は、IR 区域整備計画について大阪府民の賛否を問う住民投票の実施を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年6月21日

大阪府泉南郡熊取町議会